



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月2日

上場会社名 フタバ産業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7241 URL <http://www.futabasangyo.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 三島 康博
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理部長 (氏名) 小木曾 伸一 (TEL) 0564-31-2211
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	311,988	7.6	2,028	372.4	1,676	677.7	716	—
26年3月期第3四半期	289,828	6.0	429	—	215	—	△1,087	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 5,544百万円(△29.1%) 26年3月期第3四半期 7,821百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	10.24	—
26年3月期第3四半期	△15.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	245,581	61,832	18.9
26年3月期	238,315	58,934	18.0

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 46,421百万円 26年3月期 43,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期の配当につきましては、未定としております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	417,900	4.6	3,600	29.3	2,800	18.4	1,200	△63.1	17.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	70,049,627株	26年3月期	70,049,627株
27年3月期3Q	97,469株	26年3月期	96,459株
27年3月期3Q	69,952,796株	26年3月期3Q	69,953,971株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、その情報の不確実性のほか、今後の経済情勢、市場動向、株価・為替動向等の状況変化により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国や欧州では景気が緩やかな回復を続けるなか、アジア地域においては、中国では景気の減速感が強まっていることや、タイ、インドネシアなどでは停滞感も見られました。

国内経済は、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動が見られたものの、政府の経済対策などにより緩やかな回復基調で推移してまいりました。しかしながら、景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要取引先であります自動車業界においては、北米では買い替え需要により堅調に推移し、欧州では回復の兆しが見えてきておりますが、中国においては経済成長率の鈍化に伴い、自動車市場の需要も前年同期に比べて伸び悩みました。国内市場においては、消費税率引上げ前の駆け込み需要の反動減が見られました。

こうした状況のなか、当社グループにおいては、生産体制の見直し、生産効率の向上、原価改善の推進、サプライチェーンの見直し及び物流費の低減などの収益改善活動に積極的に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,119億円(前年同四半期比7.6%増)となり、営業利益は20億円(前年同四半期比372.4%増)、経常利益は16億円(前年同四半期比677.7%増)、四半期純利益は7億円(前年同四半期は10億円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響により、1,764億円(前年同四半期比3.3%減)となりました。セグメント利益は2億円(前年同四半期比85.5%減)となりました。

②北米

売上高は687億円(前年同四半期比28.4%増)となりました。セグメント利益は4億円(前年同四半期は13億円のセグメント損失)となりました。

③欧州

売上高は221億円(前年同四半期比26.1%増)となりました。セグメント損失は0億円(前年同四半期は6億円のセグメント損失)となりました。

④アジア

売上高は544億円(前年同四半期比9.8%増)となりました。セグメント利益は12億円(前年同四半期比90.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、たな卸資産の増加、有形固定資産の増加、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べて72億円増加し、2,455億円となりました。負債については、短期借入金の増加、リース債務の増加等により、前連結会計年度末に比べて43億円増加し、1,837億円となりました。純資産については、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べて28億円増加し、618億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成26年7月30日に公表いたしました予想値を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年2月2日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下、「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が192百万円減少、退職給付に係る負債が506百万円増加し、利益剰余金が631百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日の海外子会社につきましては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について連結上必要な調整を行っていましたが、フタバチェコ(有)他2社は当連結会計年度より決算日を3月31日に変更しております。

この変更に伴い、平成26年1月1日から平成26年3月31日までの3ヶ月損益につきましては、利益剰余金に直接加減しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,244	17,101
受取手形及び売掛金	56,256	50,697
製品	4,058	3,872
仕掛品	7,979	10,459
原材料及び貯蔵品	4,292	4,525
繰延税金資産	5	3
その他	7,942	9,376
貸倒引当金	△53	△12
流動資産合計	100,726	96,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,160	33,063
機械装置及び運搬具(純額)	47,978	46,138
工具、器具及び備品(純額)	4,694	5,317
土地	14,751	14,903
リース資産(純額)	4,693	5,779
建設仮勘定	10,123	17,928
有形固定資産合計	114,402	123,132
無形固定資産		
	856	722
投資その他の資産		
投資有価証券	15,734	18,809
長期貸付金	2,007	1,970
退職給付に係る資産	4,580	4,867
繰延税金資産	619	520
その他	1,832	1,979
貸倒引当金	△2,444	△2,444
投資その他の資産合計	22,330	25,702
固定資産合計	137,589	149,557
資産合計	238,315	245,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,051	45,647
電子記録債務	5,752	6,211
短期借入金	32,314	36,787
1年内返済予定の長期借入金	6,952	15,385
リース債務	3,129	3,511
未払法人税等	749	264
未払消費税等	415	201
役員賞与引当金	50	—
未払費用	9,352	7,477
その他	7,650	9,165
流動負債合計	113,416	124,653
固定負債		
長期借入金	46,967	37,744
リース債務	1,922	2,955
繰延税金負債	7,822	8,380
役員退職慰労引当金	89	81
製品保証引当金	320	320
退職給付に係る負債	8,350	9,112
資産除去債務	189	189
その他	302	311
固定負債合計	65,964	59,096
負債合計	179,381	183,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,820	11,820
資本剰余金	8,616	8,616
利益剰余金	13,159	12,896
自己株式	△147	△148
株主資本合計	33,448	33,184
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,912	6,820
為替換算調整勘定	5,121	6,776
退職給付に係る調整累計額	△474	△359
その他の包括利益累計額合計	9,559	13,237
少数株主持分	15,926	15,410
純資産合計	58,934	61,832
負債純資産合計	238,315	245,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	289,828	311,988
売上原価	275,877	296,368
売上総利益	13,951	15,620
販売費及び一般管理費	13,521	13,591
営業利益	429	2,028
営業外収益		
受取利息	277	247
受取配当金	376	301
作業くず売却益	219	243
持分法による投資利益	—	32
為替差益	297	181
デリバティブ評価益	30	20
雑収入	563	666
営業外収益合計	1,765	1,693
営業外費用		
支払利息	919	950
持分法による投資損失	71	—
固定資産廃棄損	519	465
外国源泉税	322	395
雑損失	145	234
営業外費用合計	1,978	2,045
経常利益	215	1,676
税金等調整前四半期純利益	215	1,676
法人税等	808	322
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△592	1,354
少数株主利益	495	637
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,087	716

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△592	1,354
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,669	1,907
為替換算調整勘定	5,293	2,042
退職給付に係る調整額	—	115
持分法適用会社に対する持分相当額	451	125
その他の包括利益合計	8,414	4,190
四半期包括利益	7,821	5,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,651	4,515
少数株主に係る四半期包括利益	2,170	1,029

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、総額209百万円の剰余金の配当を行っております。

第1四半期連結会計期間の期首より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、期首の利益剰余金の額が631百万円減少しております。また、フタバチェコ(有)他2社が第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更したことに伴い、期首の利益剰余金の額が138百万円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	169,475	53,520	17,542	49,288	289,828	—	289,828
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,984	0	6	265	13,257	△13,257	—
計	182,460	53,521	17,549	49,554	303,085	△13,257	289,828
セグメント利益又は損失(△)	2,015	△1,387	△641	639	626	△196	429

(注)1 セグメント利益の調整額△196百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	合計 (注)2
	日本	北米	欧州	アジア	計		
売上高							
外部顧客への売上高	166,995	68,710	22,122	54,160	311,988	—	311,988
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,413	1	2	242	9,659	△9,659	—
計	176,409	68,712	22,124	54,402	321,648	△9,659	311,988
セグメント利益又は損失(△)	291	467	△88	1,218	1,889	138	2,028

(注)1 セグメント利益の調整額138百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

平成27年3月期 第3四半期 決算参考資料

【連結】

1. 当第3四半期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第3四半期 (H26.4~H26.12)		前年同四半期 (H25.4~H25.12)		増減	増減率	通期予想 (H26.4~H27.3)		対前年通期	
							増減	増減率		
売上高	(100.0%)	311,988	(100.0%)	289,828	22,160	7.6%	(100.0%)	417,900	18,521	4.6%
営業利益	(0.7%)	2,028	(0.1%)	429	1,599	372.4%	(0.9%)	3,600	815	29.3%
経常利益	(0.5%)	1,676	(0.1%)	215	1,460	677.7%	(0.7%)	2,800	434	18.4%
四半期純利益	(0.2%)	716	(△0.4%)	△1,087	1,804	-	(0.3%)	1,200	△2,052	△63.1%
1株当たり純利益		10円24銭		△15円55銭				17円15銭		
設備投資		13,113		17,706	△4,593	△25.9%		23,000	1,525	7.1%
減価償却費		15,043		15,048	△5	△0.0%		20,000	△167	△0.8%

(注) ()内は売上高比率を表示

2. 営業利益増減要因(対前年同四半期比)

(単位: 億円)

増益要因	金額	減益要因	金額
売上増による利益の増	20	労務費の増	18
製品構成の変動等による利益の増	14	経費の増	4
減価償却費の減	5	作業屑売却高の減	3
為替変動による影響	2		
計	41	計	25
差引	営業利益の増	(4 → 20)	16

3. セグメント別業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

		当第3四半期 (H26.4~H26.12)		前年同四半期 (H25.4~H25.12)		増減	増減率
			利益率		利益率		
日本	売上高	176,409		182,460		△6,051	△3.3%
	営業利益	291	0.2%	2,015	1.1%	△1,723	△85.5%
北米	売上高	68,712		53,521		15,191	28.4%
	営業利益	467	0.7%	△1,387	△2.6%	1,855	-
欧州	売上高	22,124		17,549		4,575	26.1%
	営業利益	△88	△0.4%	△641	△3.7%	552	-
アジア	売上高	54,402		49,554		4,847	9.8%
	営業利益	1,218	2.2%	639	1.3%	579	90.6%
消去	売上高	△9,659		△13,257		3,598	
	営業利益	138		△196		335	
合計	売上高	311,988		289,828		22,160	7.6%
	営業利益	2,028	0.7%	429	0.1%	1,599	372.4%

【個別】

1. 当第3四半期の業績

(単位: 百万円未満切り捨て)

	当第3四半期 (H26.4~H26.12)	前年同四半期 (H25.4~H25.12)	増減	増減率
売上高	(100.0%) 174,844	(100.0%) 180,896	△6,051	△3.3%
営業利益	(0.2%) 300	(1.0%) 1,759	△1,458	△82.9%
経常利益	(2.5%) 4,413	(2.9%) 5,306	△892	△16.8%
四半期純利益	(2.4%) 4,217	(2.9%) 5,190	△973	△18.8%
設備投資	7,083	6,321	762	12.1%
減価償却費	7,055	7,982	△926	△11.6%

(注) ()内は売上高比率を表示